

栃木県立足利南高等学校 学校評価票 令和2年度
学校組織目標：教育の質を高める総合学科・チーム足南
～生徒の実態を踏まえたシステムづくりと生徒の強みを育てる指導の充実～

本年度の目指す生徒の姿
○自分のよさや強みに気づいて、それを学校生活の中で発揮する生徒
○学習課題に自主的、計画的に取り組み、自らの学びを大切にしている生徒
○様々な立場や考え方を尊重し、他者と協力して諸活動に取り組む生徒
○よい習慣や行動を身に付け、心と身体のバランスを保ち、健康を推進する生徒

テーマ：充実する自分、広がる未来。

取組の視点

生徒

- よさや強みを認め励みながら、自己肯定感を高める
- 学ぶ意欲を高め、自主的、自律的な学びにつなげる
- 自己肯定感の高まりを自主的、自律的な行動につなげる

教職員

- 学校全体で安全・安心な学習環境を確保する
- 生徒の潜在能力を引き出す
- 原点に戻る(ねらいの意識化・明確化)
- 優先順位、スクラップ&ビルドを意識する
- ワーク・ライフ・バランスを意識する
- かかわりの中での生徒理解を、指導・支援につなげる

努力点	学校自己評価				学校関係者評価			
	本年度の具体的方策	評価結果		次年度以降への改善策	評価		ご意見・ご助言	
学びのある授業	学びのある授業を実践するため、現職教育を行うとともに、教員同士が互いに授業見学する機会を設け、振り返りを通して授業力を高める。	A	B	新学習指導要領の示す「学力の3要素」を踏まえ、授業改善と評価の工夫に取り組む。生徒一人一人の「学び」に注目して授業改善や学力向上に取り組む雰囲気が出てきているので今後も継続する。	A	B	先生方の自己評価で適切であると思います。	
	適切な課題を与えて気づきや理解を深めたり、新たな知識や技能を獲得させたりするなど学びの実感の持てる授業づくりに努める。	B			B			
居甲斐のある学校生活	LHRや学校行事、部活動などを通して、集団行動やコミュニケーションのとり方を学ばせ、良好な人間関係を構築できるように導く。			本年度実施できなかった人権教育等のアクティビティをはじめ集団活動を可能な限り実施することによって自己肯定感を高め、互いの人権を尊重する雰囲気づくりに努める。			B	今年度はコロナの影響もあり、学校行事が少なくあまり学校へ行く機会がなかったのが残念です。子供達のがのびのびと安全に学校生活を送れる事が何よりだと思います。
	学校生活のあらゆる場面で生徒一人ひとりのよさや強みを認め励まし、自己肯定感を高める支援を行う。							
キャリア教育・進路実現を促す活動	生徒の発達段階に応じてそれぞれの進路実現に向けた講座選択が円滑かつ適切に行われるようガイダンスやヒアリングなどを行い支援する。	B	B	社会の変化や生徒の実態に応じた進路実現を図るため、新たな科目を開設するほか、「産業社会と人間」を中核として各教科・科目のつながりや特別活動・学校行事との有機的なつながりについて点検し、教育課程の改善を図る。	B	B	生徒・保護者アンケートの評価結果が高いので、先生方の取り組みが生徒・保護者に伝わっていると思います。コロナの影響でガイダンス等の進路行事が減ってしまったのが残念です。リモートで行える指導の工夫をお願いします。	
	進路に関する行事及び個別指導を有効に活用し、生徒の強みを生かした進路の実現を図る。	B			B			
心と身体の健康増進	基本的な生活習慣の確立及び感染症予防対策を徹底するとともに、学校全体で実現しやすい環境づくりに取り組み、各人の健康と安全を守る。	B	B	家庭の協力を得ながら学校全体で感染防止対策を徹底し、学校行事をできるだけ実施する。そのことを通して心身の健康を維持・増進できる環境をつくる。	B	B	感染防止対策や生徒の指導・支援について、学校・生徒・保護者の連携が程よく取れていると思います。	
	生徒や保護者が抱える課題や問題について、情報共有やSCとの連携を通して、組織的な支援体制の構築を図る。	A			A			
安全・安心な学習環境	生徒に遵守させる指導内容について教職員が十分に共通理解を図る。そのうえで、日頃は暖かく接しながらも指導すべきことはきちんと指導する。	B	B	年度当初に生徒指導の在り方や共通理解項目といった情報を教員間でしっかりと共有し、生徒の発達段階に応じた適切な指導ができるよう努める。	B	B	教師と生徒間のコミュニケーションが良好で、生徒はきまりを守って生活していると感じました。	
	日頃の生徒観察や声かけ指導、アンケート等の実施によって、事故防止、いじめや問題行動の未然防止を図る。	A			A			
開かれた学校、地域との連携	ホームページによる適時適切な情報発信に努めるとともに、ホームページの活用について検討し、内容の充実と更新体制を作る。	B	B	ホームページに掲載する内容については、在校生・保護者・受検を考えている中学生にとって有意義な内容を検討し、定期的に更新できるよう努める。	B	B	ホームページの利用法を知らない人もいる。在校生・保護者等だけでなく、一般でも利用出来るようになれば南高の良さをもっとわかってもらえるのではないのでしょうか。	
	足利市で開催される各種イベントへの協力など地域との連携・協働、貢献活動への主体的な参加を促進する。							

* 網掛け斜線の項目はコロナウイルス感染の影響により実施出来なかった項目です。

AA=A AB=B AC=B BB=B BC=B CC=C